

事業所名

ガッツ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

8月

1日

法人（事業所）理念		お子様一人ひとりの個性を尊重し「寄り添う支援」を実践いたします。						
支援方針		<p>☆子どもたちの笑顔があふれ、楽しく充実した時間を過ごせるような活動・環境づくりに努めてまいります。</p> <p>☆基本的な日常生活の支援や様々な体験を通して、子ども一人ひとりの可能性を最大限に引き出す支援を行います。</p> <p>☆子ども一人ひとりの状態に合わせ、将来自立した日常生活を送ることができるように支援計画を考えていきます。</p> <p>☆たくさんの仲間や様々な世代の人たちと交流しながら社会性、コミュニケーション能力の育成を図ります。</p> <p>☆地域や社会との交流の促進、保護者や家族のレスパイトの役割を担います。</p>						
営業時間		10:00	から	18:00	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	①健康状態の維持・改善 ②生活のリズムや生活習慣の形成 ③基本的な生活スキルの獲得 ④生活におけるマネジメントスキルの育成 健康な心と体を育て安全な生活を作り出す事を支援する。基本的な生活習慣の形成、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけていく。身辺自立の基本的な技能を獲得し本人の状態に合わせた適切な時期に適切な支援を行っていく。						
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 ③身体の移動能力の向上 ④保有する感覚の活用 ⑤感覚の補助及び代行手段の活用 ⑥感覚の特性への対応 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持・強化を図る。また日々の遊びを通し感覚統合を行う。感覚の特性（過敏や鈍感など）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境設定を行う。						
	認知・行動	①認知の特性についての理解と対応 ②対象や外部環境の適切な行動の習得 認知の特性を理解し、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援する。 いろいろな感覚を十分に活用し、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	①コミュニケーションの基礎的能力の向上 ②言語の受容と表出 ③言語の形成と活用 ④人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 ⑤コミュニケーション手段の選択と活用 ⑥状況に応じたコミュニケーション 言語だけではなく、いろいろな物や方法を用いてコミュニケーションに必要な基礎的な応力を身につける。 円滑なコミュニケーションが行えるように伝える側・受け取る側の人間関係の構築や主体的にコミュニケーションを展開できるように支援していく。						
	人間関係 社会性	①アタッチメント（愛着）の成型と安定 ②情緒の安定 ③他者との関わり（人間関係）の形成 ④遊びを通じた社会性の発達 ⑤事故の理解と行動の調整 ⑥仲間づくりのと集団への参加 自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的にとらえられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援する。集団活動にて手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する						
家族支援		連絡帳にて日々の活動報告を行う。文字で伝わりづらい内容に関しては電話にて保護者への報告対応することあり。また事業所にて個別での面談を定期的に行い、保護者と共通認識をもちながら支援に取り組む工夫を行う。			移行支援		本人の環境に合わせて、関係機関や事業所との情報共有を行っていく。また本人や保護者のニーズを確認し、移行することで見込まれる本人の成長や環境の変化に伴う影響などを一緒に考え説明していく。	
地域支援・地域連携		地域の学校や特別支援学校などで取り組んでいる活動へ参加し、地域との綱領を図っていく。また職員はネットワーク会議への出席など地域の事業所との情報共有などを行う機会を心掛けている。			職員の質の向上		年間計画を立て各職員の外部研修を計画的に行う。各委員会活動にて合同研修などを取り入れ、職員の知識の向上に取り組んでいる。	
主な行事等		<p>5月：青空レストラン 6月：マリンワールドへ行こう 10月：海でバーベキュー 12月：クリスマス会 3月：卒業生を祝う会 etc</p> <p>その他日々の活動については、利用者向けお便り（カリキュラム）にて毎月配布しております！ クッキングや運動活動、制作活動などの日々の活動についてはホームページにて公開しておりますので是非ご覧ください！</p>						

